

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	22400 農業振興事務費	予算科目	会計	款	項	目	担当班	振興班
①		1	農水産業の振興	根拠法令	旭市補助金等交付規則	6	1	3	事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☒ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
基本施策		1	農水産業の振興	戦略事業	7	産業まつり				
施策の展開		1	農畜産物の生産振興	戦略事業						
施策の展開										

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		農水産物・商工業製品の展示即売、活動PR等をメインにステージイベント等を行う。 実施団体:旭市産業まつり実行委員会 実施時期:11月 時間:午前10時～午後2時	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
合併前の各市町村(3市町)においてそれぞれの地域の産業の振興と、地域住民の相互のふれあいを成就するため。旧旭は農協中心の祭りに昭和59年に市が加わった。旧海上は昭和62年から。旧干潟は昭和62年から。		合併後9年が経過し、旭市全体での一体感の醸成が必要になっている。平成25年度は会場の都合もあり旭・干潟は合同で開催し、海上は単独で行った。当日協力可能な職員数は減少している。	合併後9年が経過し、市民の一体感を醸成するために同様のまつりなので一本化してはどうか。3つのまつりを一本化するにあたり、「海上はイベントが何も無いので会場を海上にしたい。」といった意見がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)	単位:千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1.いきいき旭・産業まつり補助金	5,573	2,894	2,809	3,099	5,573	6,000
2.海上産業まつり補助金	0	3,726	3,812	3,498		0
3.ふるさとまつりひかた補助金	0	2,894	2,808	3,099		0
② 特定財源の内訳(28年度の決算)	単位:千円					
1.国庫支出金	0	9,514	9,429	9,696	5,573	6,000
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					
事業費計(A)	千円	9,514	9,429	9,696	5,573	6,000
1.国庫支出金	千円					
2.都道府県支出金	千円					
3.地方債	千円					
4.その他	千円					
5.一般財源	千円	9,514	9,429	9,696	5,573	6,000

前年度増減理由	これまでの3つのまつりが一本化し、ひとつのまつりとして開催されたため。
---------	-------------------------------------

従事職員数 常時 3人 最大 150人 × 1日 = 延べ 150人

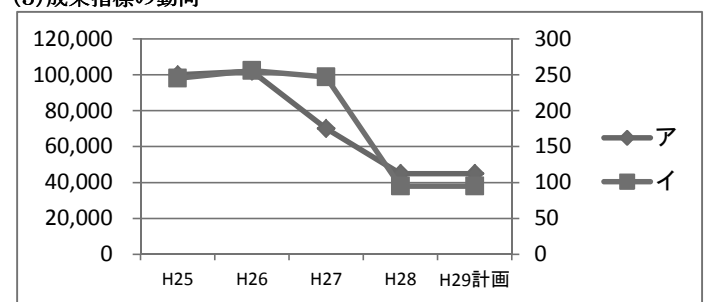
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
28年度実績(28年度に行った主な活動)	旭市産業まつりの開催実施(11/13) 産業まつり実施に係る実行委員会の開催(5回)	ア 開催回数	回	2	2	2	1	1
		イ シャトルバス運行本数	便	284	140	140	81	90
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
対象意図	旭市民及び近隣住民 ・交流して、楽しみ、相互の連帯感を持つことができる。 ・市の農水産物・商工業製品を知る。(できれば買ってもらおう。)	ア 来場者数 (産業まつりのPR効果や交流の場として機能しているかを見ることが出来る)	人	100,000	102,000	70,000	45,000	45,000
		イ 出店者数	団体	245	256	247	95	95
対象意図	農水畜産物、商工業製品等の販売・PRを行う者で、市内在住または市内に事務所を持つ者 市内の産業を知ってもらおう。更には買ってもらおう。							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況 【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	☐完了 ☒順調 ☐概ね順調 ☐停滞 ☐実施困難											
	② 成果の状況 【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア 成果指標イ	成果指標 のタイプ	☐数値増＝成果向上 ☐数値増＝成果向上	☐向上 ☐向上	☒横ばい ☐横ばい	☐低下 ☒低下	成果比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画
	ア	イ	イ	イ	イ	イ	イ	15,000	2,000	△32,000	△25,000	0	
								△64	11	△9	△152	0	
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐拡大 ☐縮小	☒現状維持 ☐廃止・休止	☐見直し ☐その他 ()							
平成29年度		現状維持を基本としつつも、実行委員会等でJAや商工会など外部の団体との綿密な打合せを行い、より地域の産業振興に寄与できるような産業まつりの円滑な実施を図る											